

研究開発課題別中間評価結果

1. 研究開発課題名：高速画像処理を用いた知能システムの応用展開
2. 研究代表者：石川 正俊（東京大学 大学院情報理工学系研究科 教授）
プログラマネージャー：岸 則政（科学技術振興機構）
3. 中間評価結果

本研究開発課題は、高速画像処理の共通基盤コア技術と5つの応用分野に対するPOCを設定しアクチュエータなどの周辺ハードウェアや制御アルゴリズムを統合し人間の機能を遙かに超える高速知能システムの実証に向けて研究開発を進めている。

共通基盤技術のひとつであるプロジェクタでは対象物の動きを高速に捉え、その状態に合わせた映像を人間に遅延を感じさせる事なく表示できるダイナミックプロジェクションマッピングシステムを実証した。また検査応用分野である眼底検査システムでは手ぶれとともに人間の目の細かな動きを高速に捉え眼底画像を高精細な静止画に合成するなどの優れた成果を出している。またその他のPOCシステムもほぼ順調に研究開発が進展しており評価できる。

ACCEL後半では引き続き、多くのPOCをマネジメントし、各POCの効果的な実証に向けた共通基盤コア技術、各応用分野においてアルゴリズムやシステム技術、企業と連携してアクチュエータなどの高速ハードウェアとを統合させた高速知能システム、の研究開発を進め、企業との共同開発を通して社会実装の実現、製品化、産業化への橋渡しを加速させていただきたい。

以上

ACCEL 研究開発運営委員会
委員長 松本 洋一郎